



夏・梅雨におすすめの本



落語絵本 ばけものつかい【クレヨンハウス】

(作)川端誠

夏といえば、化け物。

何回も同じ台詞が出て来るので

テンポ良く読むのがコツ!!

ご隠居さんとお化け、本当に怖いのはどっち？

子供に受けがいい本です。

あしたのてんきははれ？くもり？あめ？

【福音館書店】

(作)野坂勇作 (監修)根本順吉

観天望気って何？

自然現象や生き物の行動の様子などから天気を

予想する事。天気のことわざなどの事。

身の回りをよく観察してみよう!!

君にもできる天気予報の本。

フェリーターミナルのいちにち【福音館書店】

(作)石橋真樹子

横須賀市出身の作家さんの作品です。

北海道の苫小牧港をモデルに、フェリーターミナルの夏の一日が、さわやかに描かれています。

乗り物好きな子どもには魅力的なお話です。

あめのもりのおくりもの【福音館書店】

(作)ふくざわゆみこ

おおきなクマさんとちいさなヤマネくんシリーズの4作目。

梅雨明け間近の雷が鳴り響く大雨の日、ひとりであじさいを見に出かけて

いったヤマネくんを心配したクマさんは、雷が怖いのに捜しに行くのですが・・・。

相手のことを思いやる気持ちが物語の中に溢れているお話です。

とこちゃんのながぐつ【学研】

(作)かとうまふみ

とこちゃんのくつたちは、みんなおでかけが大好き。

でもながぐつは、雨が降った日しかお出かけできません。

いつもスニーカーたちをうらやましがっていたながぐつですが、ある日、とうとう雨が降って、ながぐつの出番がやってきました！

小学2年生までの子どもに、「嫌がらずに長靴を履いてね」という気持ちを込めて読んでいます。

あっぱれ！てるてる王子【講談社】

(作)コマヤスカン

明日は遠足なのに予報は台風。

お天気にならないかな・・・。

「え～っ、ハワイ青空ホテルに予約したのに・・・」って、王子！

てるてる坊主が100個あったから、

お仕事ですよ!!

